

# 福祉のまちづくり懇談会(H27.7.30 野塩・梅園)ニュース

## ◆当日の振り返り

懇談会には18名が参加をしていただき「野塩・梅園地域の困りごと・気になること」をグループごとに話し合いました。地域住民の方、福祉関係者の方など、様々な視点から意見の交換・発表をできたのではないのでしょうか。

## ◆地域の困りごと・気になること

各グループからより多くでた意見です。

・【外出の不便】…急な坂がある地域です。「坂の上り下りが大変」「きよバスの本数を増やしてほしい」など、買い物をするには駅前まで出る必要があり、日常的に外出の不便さを感じている声が多くありました。

・【住民同士の交流】…「近隣との交流がない」「近所の人の名前もわからない」とつながりのなさを感じている方もいる一方で、「子どもに知らない人と接触しないよう教育している」など課題も感じられました。

・【治安】…「夜が暗い」「地域でのいたずらに困っている」など安心して夜が過ごせないという声もありました。



## ◆地域にほしい取り組み

これらの問題を踏まえて、あったらいいと思う取り組みを話し合い、「一人でもできそうなこと」、「何人かいればできそうなこと」、「地域全体で頑張ればできそうなこと」の3つに分類しました。

・【治安】については、「防犯カメラの設置」を望む声が多く出されたほか、「変な電話があった時は声をかけあう」「夜回り」などの地域住民の力で見守りをしたらよいというアイデアが出されました。

・【住民同士の交流】については、「声かけ運動」の他、「自治会以外で地域のことを話し合える場」「夏祭りなどのイベント」「学校ぐるみ、定期的に子どもが高齢者と買い物やお風呂洗いをする」などの話し合う場所や世代間交流を望む声も多く聞かれました。

## ◆次回の懇談会にむけて

アンケートでは「自分が感じていないことにも気づかされるた」など地域について新たな気付きがあったという声や「声をかけてきてもらってもよいのであれば増やせるのでは」という声もいただき今後の活動の広がりも感じられました。今後もより多くの方に参加をしていただき、地域の方とともに住みやすい福祉のまちづくりを目指していきたいと思います。